

当健康保険組合の平成25年度事業計画と予算が、2月12日に開催された組合会において可決・承認されました。みなさんと事業所（会社）から納めていただく保険料、および当健康保険組合の保健事業の説明をまじえながら、予算のあらましについてお知らせいたします。

平成25年度も保険料率を引き上げます

厳しい財政状況のもと、より健全な予算を編成するため、平成24年度に引き続き、平成25年度（平成25年3月分保険料より適用）から保険料率を1000分の2引き上げて、1000分の72にすることとなりました。安定した組合運営を図るため、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

納付金負担により厳しい財政状況

当健康保険組合の過去5年の財政状況をみると、全て経常収支で赤字という結果でした。保険料を平成23年度、24年度と連続で引き上げたにもかかわらず、経常収入支出差引額の赤字額は、平成24年度まで増加の一途をたどっています。

さらに、赤字を埋めるため、毎年度、別途積立金を取り崩して対応してきました。

このような事態となった主な要因は、高齢者医療制度を支えるため国に拠出している「納付金」の負担などによるもので、当健保組合だけでなく、全国の約8割の健保組合が赤字となっています。

図1 平成21年度～平成25年度の経常収支額の推移

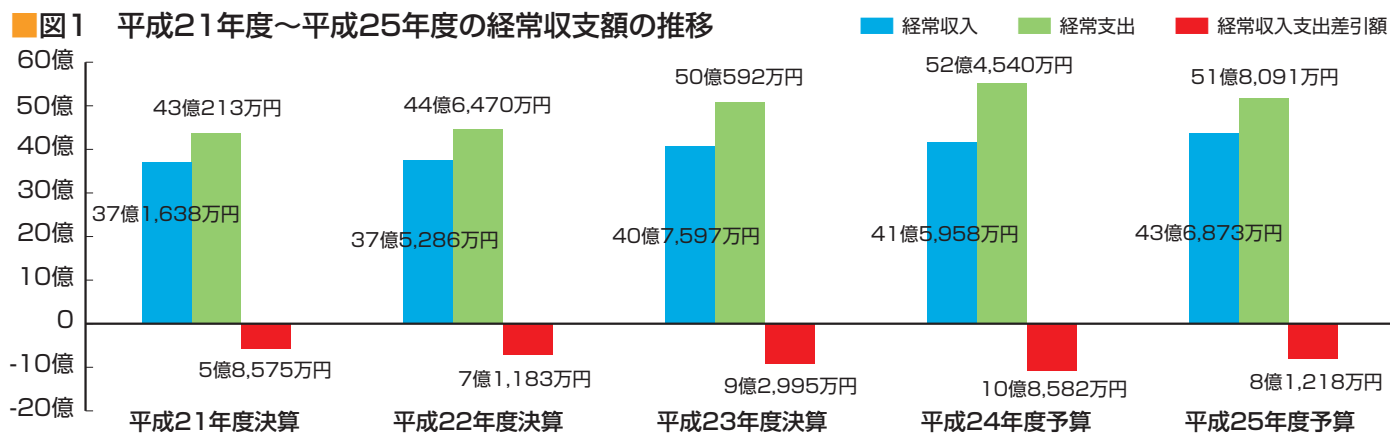


図2 別途積立金の推移

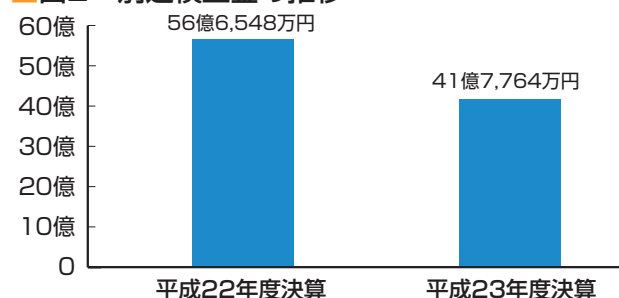
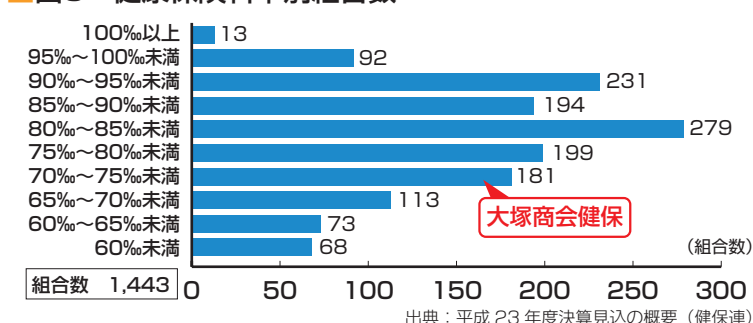


図3 健康保険料率別組合数



引き上げ後も平均より低い保険料率

3年連続での保険料率引き上げとなりますが、全国の健康保険組合平均1000分の79.87（平成24年2月）や協会けんぽの保険料率1000分の100より、低率です。

保健事業を利用して、健康を増進しましょう！

健康づくりをサポートする**当組合独自の事業**です。くわしくは当組合ホームページをご覧ください。

健診を受けましょう！

年に1回定期的な健康チェックを必ず受けてください。健康保持増進のためにできることを考えるきっかけに。よりよい保健指導を行うためには、年内に受診をすませていただくことがなにより重要です。

健康をキープアップするための第一歩です。ぜひ、みなさんの協力をお願いします！



健診事業

- 定期健診 **本** 35歳未満対象
- 人間ドック **本** **家** 35歳以上対象
- 主婦健診 **家** 35歳以上対象
(※主婦健診、人間ドックのいずれかを選択)

各種補助制度

- 婦人科検診 **本** **家** 35歳以上対象
人間ドック・主婦健診と同時に受けることができます。
- 子宮頸がん **本** 35歳未満対象
- 大腸内視鏡検査 **本** **家** 50歳・55歳・60歳対象
- インフルエンザ予防 **本** **家** 平成25年度より補助額を1,000円アップ!!

保健指導・健康相談

- 生活習慣指導面談 **本** **家**
- 特定保健指導（メタボ面談） **本** **家**
- ファミリー健康相談 **本** **家**

健康を保持・増進しましょう！

- スポーツ施設利用補助 **本** **家**
- 禁煙マラソン（3ヵ月） **本**
- 禁煙セルフチャレンジ（6ヵ月） **本**



- あるけあるけ運動 **本** **家**
- 大宮運動場 **本** **家**
- 栄養セミナー **家**
- ベストウェイトプロジェクト **本**
- 高齢者訪問事業 **家**



※ **本** …被保険者向け **家** …被扶養者向け

※家庭用救急常備薬の配布制度は廃止となりました。

賢く受診して、医療費を節約しましょう！

- かかりつけの医師や薬局を持ちましょう。重複受診（ハシゴ受診）などを避けることができます。



- 緊急時以外は、診療時間外の受診を避けて、平日の時間内に受診しましょう。

- 子どもの急な病気には、小児救急電話相談（#8000）を活用しましょう。



- 医療費節約の切り札、ジェネリック医薬品（新薬と同じ効果で価格が安い後発医薬品）を検討しましょう。

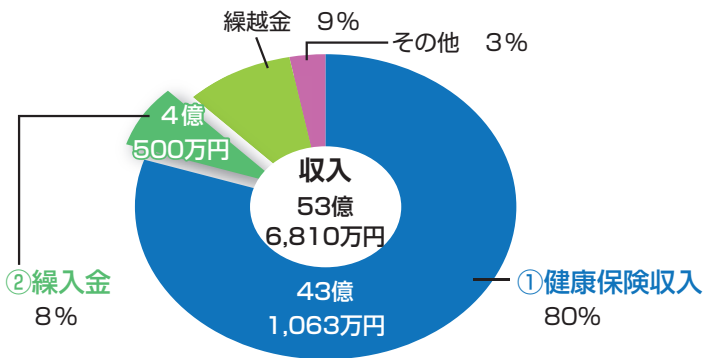
平成25年度予算のポイント

● 一般勘定

①収入

科 目	(単位：千円)	(単位：円)
①健康保険収入	4,310,625	495,474
調整保険料収入	79,358	9,122
繰越金	500,000	57,471
②繰入金	405,001	46,552
国庫補助金収入	3,004	345
特定健康診査等事業収入	15,964	1,835
財政調整事業交付金	20,001	2,299
雑収入	34,146	3,925
収入合計	5,368,099	617,023
経常収入合計	4,368,734	502,153
経常収支	-812,175	-93,354

予算基礎数値	平均標準報酬月額	428,900円
被保険者数	8,700人	健康保険料率 1000分の72



①健康保険収入

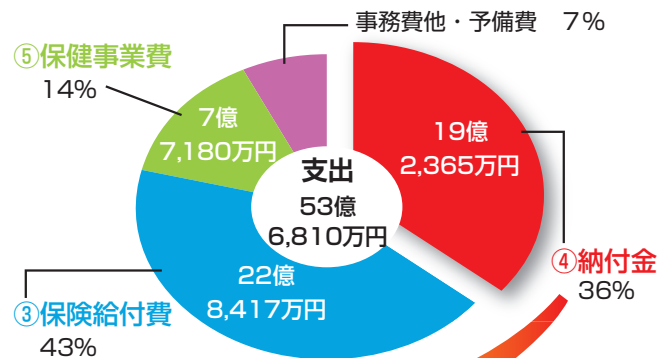
組合員と会社から納めていただく保険料で支出をまかなうのが本来です。

②繰入金

積立金約4億円の繰り入れによって収支のバランスをとっています。

①支出

科 目	(単位：千円)	(単位：円)
事務費	172,986	19,883
③保険給付費	2,284,165	262,548
④納付金	1,923,654	221,110
⑤保健事業費	771,797	88,712
還付金	2,300	264
営繕費	3,100	356
財政調整事業拠出金	79,358	9,122
連合会費	2,305	265
積立金	20,000	2,299
その他	4,002	460
予備費	104,432	12,004
支出合計	5,368,099	617,023
経常支出合計	5,180,909	595,507



③保険給付費

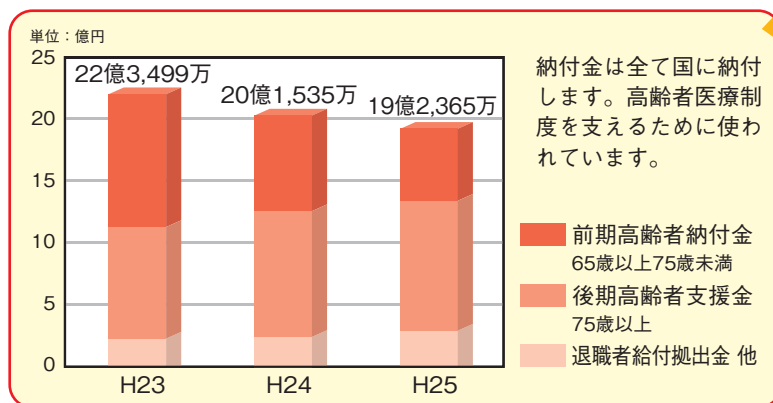
病気やけがをした時の医療費・手当金として使われます。

④納付金

他制度への拠出金となります。多くの組合が赤字となっている原因です。

⑤保健事業費

健診・保健指導、各種補助制度、保養所利用補助金等健康づくりに使われます。



● 介護勘定

● 介護保険料率は10%から12%に

介護保険は健保組合が国に代わって保険料を徴収し、介護納付金として当健保組合に割り当てられた額を国へ納付することになっています。

平成24年度に引き続き、平成25年度も現行の保険料率では収入不足になるため、介護保険料率を千分の2引き上げ千分の12（被保険者と事業主で折半負担、平成25年3月分保険料より適用）としました。その結果、介護勘定予算は総額4億722万円、介護納付金は3億8,058万円を見込みました。

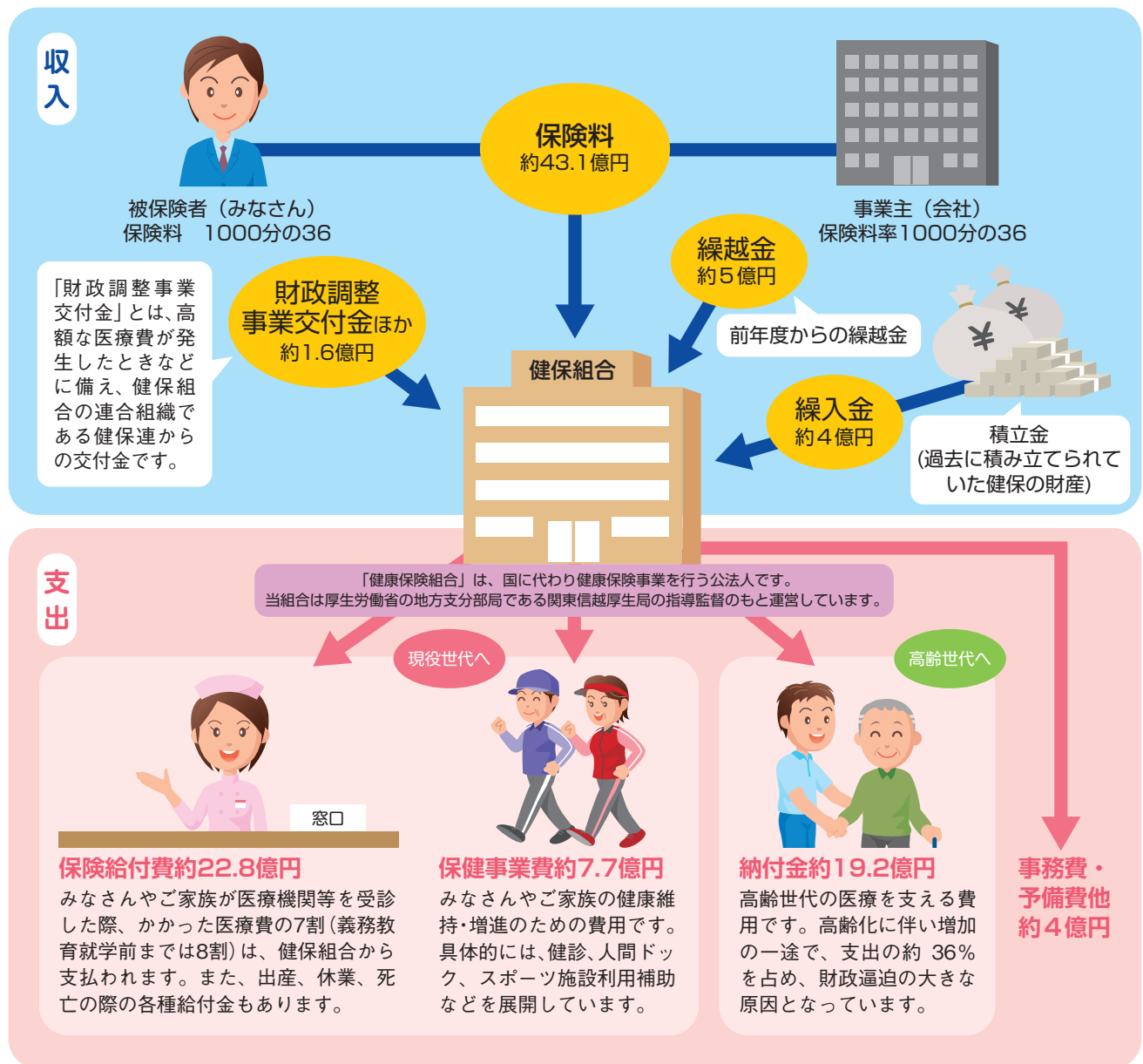
①収入

科 目	(単位：千円)	(単位：円)
介護保険収入	407,215	94,966
雑収入	2	—
収入合計	407,217	94,966

①支出

科 目	(単位：千円)	(単位：円)
介護納付金	380,578	88,754
介護保険料還付金	50	12
積立金	26,589	6,200
支出合計	407,217	94,966

目で見てわかる健保組合のお金の流れ



今期予算のポイント

- 保険料を1000分の70から72に引き上げる
- 保険給付費の伸びを抑えるため、保健事業を今後も充実させる
- 保険料だけでは賄えない支出を補うため約4億円を繰り入れる

保険料収入だけでは足りない部分は、主に別途積立金を取り崩して対応してきました。しかし、別途積立金には、限りがあります。今後さらに増加する納付金の支出増にどうやって対応するか考えなくてはなりません。

社会情勢や当組合の財政状況などを考慮し、さらに保険料率を引き上げることを検討する必要があります。

一方で、被保険者や被扶養者のみなさんの健康がより増進することで、現在と将来にわたって医療費を抑える努力を継続していくことが必要です。今後も健康づくりをサポートする各種保健事業には力を入れていきます。そうした考えにたって保健事業費は7億7,180万円の予算を組んでいます。